



平成25年8月9日

各位

株式会社T & Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成26年3月期第1四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成26年3月期第1四半期(平成25年4月1日～平成25年6月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、1兆7,383億円、前年同期から10.7%の減少。
- 解約失効高は、1兆321億円、前年同期から1.0%の減少。
- 保有契約高は、59兆4,371億円、前年度末から0.4%の増加。

損益関係(T & Dホールディングス連結)

- 経常収益は、5,226億円、前年同期から25.7%の減少。
うち保険料等収入は、3,896億円、前年同期から35.0%の減少。
- 経常利益は、470億円、前年同期から56.7%の増加。
- 四半期純利益は、219億円、前年同期から138.2%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

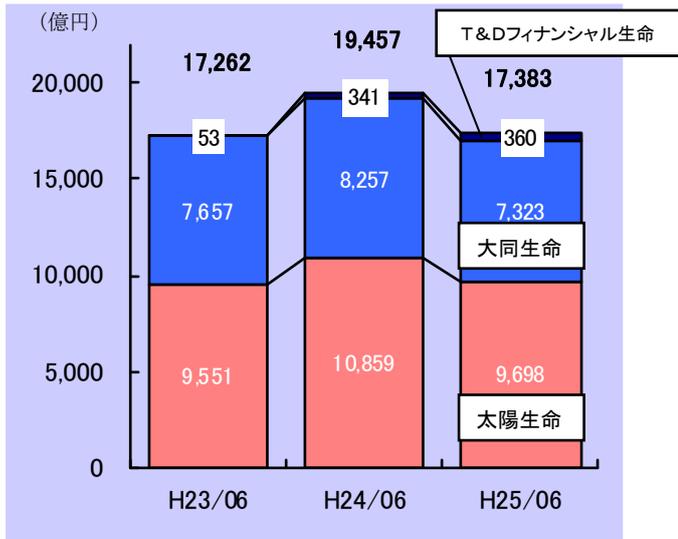
以上

【お問合せ先】

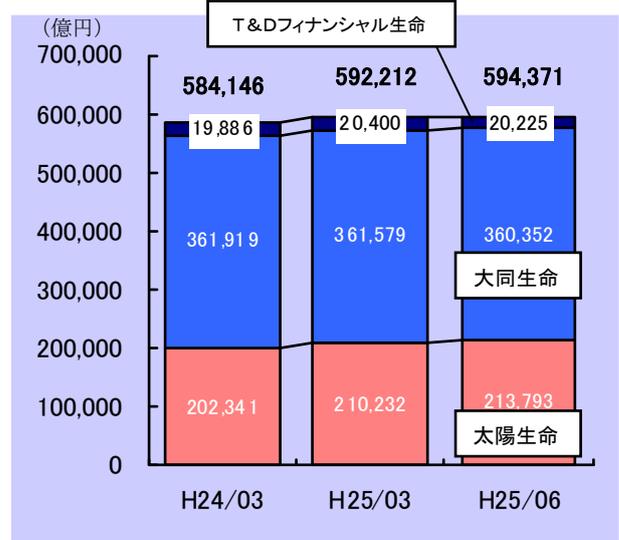
株式会社T & Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

〔契約業績（個人保険・個人年金保険）〕

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約高	17,383	2,074 減 (10.7%減)	9,698	1,160 減 (10.7%減)	7,323	933 減 (11.3%減)	360	19 増 (5.8%増)
解約失効高	10,321	100 減 (1.0%減)	3,306	21 増 (0.6%増)	6,565	356 減 (5.2%減)	448	234 増 (109.7%増)
(解約失効率)			(1.57%)	(0.05ポイント低下)	(1.82%)	(0.09ポイント低下)	(2.20%)	(1.12ポイント上昇)
新契約年換算保険料	293	217 減 (42.5%減)	118	195 減 (62.3%減)	145	26 減 (15.3%減)	30	5 増 (19.8%増)
うち医療保障・生前給付保障等	41	5 増 (15.2%増)	19	2 増 (12.2%増)	21	3 増 (18.1%増)	0	0 増 (-)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
保有契約高	594,371	2,159 増 (0.4%増)	213,793	3,561 増 (1.7%増)	360,352	1,227 減 (0.3%減)	20,225	175 減 (0.9%減)
保有契約年換算保険料	14,444	32 減 (0.2%減)	6,356	0 増 (0.0%増)	6,367	0 減 (0.0%減)	1,720	33 減 (1.9%減)
うち医療保障・生前給付保障等	1,613	3 増 (0.2%増)	998	5 減 (0.5%減)	578	10 増 (1.8%増)	36	1 減 (3.4%減)

■ 3社単純合算

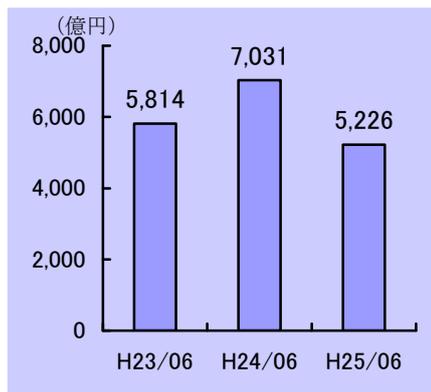
- ・新契約高は、1兆7,383億円、前年同期から10.7%の減少。
- ・解約失効高は、1兆3,211億円、前年同期から1.0%の減少。
- ・保有契約高は、59兆4,371億円、前年度末から0.4%の増加。

■ 各社の状況

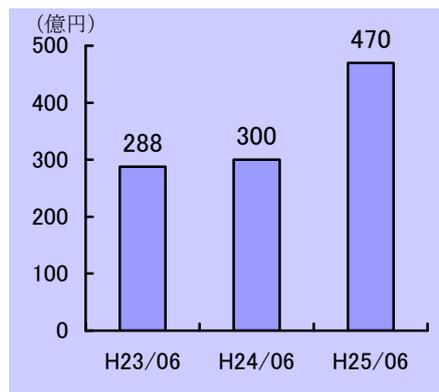
- ・太陽生命の新契約高は、9,698億円、前年同期から10.7%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の販売減少による。なお、主力の個人保険の新契約高は前年同期から6.1%の増加となっている。
また、保有契約高は、21兆3,793億円、前年度末から1.7%の増加となり過去最高を更新。
- ・大同生命の新契約高は、7,323億円、前年同期から11.3%の減少。
これは主に、一時払終身保険および個人定期保険の販売減少による。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額1,022億円（前年同期から26.4%の増加）を加算した金額でみた場合、8,345億円、前年同期から7.9%の減少となる。
また、保有契約高は、36兆9,007億円、前年度末から0.1%の減少となる。
※「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、360億円、前年同期から5.8%の増加。
解約失効高は、448億円、前年同期から109.7%の増加。これは、主に株式相場の上昇により変額個人年金保険の解約が増加したことによる。

[損益関係]

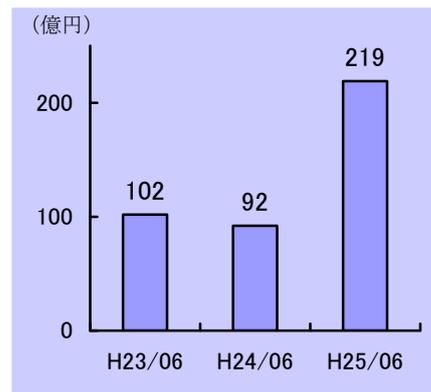
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	5,226	1,804 減 (25.7%減)	2,391	1,731 減 (42.0%減)	2,133	236 減 (10.0%減)	676	121 増 (21.9%増)
うち保険料等収入	3,896	2,100 減 (35.0%減)	1,872	1,743 減 (48.2%減)	1,663	341 減 (17.0%減)	355	16 減 (4.5%減)
うち資産運用収益	1,077	243 増 (29.1%増)	443	24 減 (5.2%減)	402	95 増 (31.1%増)	242	133 増 (123.3%増)
うち利息及び配当金等収入	696	117 増 (20.3%増)	369	40 増 (12.2%増)	316	72 増 (29.5%増)	16	4 増 (38.4%増)
うちその他経常収益	252	53 増 (26.6%増)	75	35 増 (90.8%増)	67	9 増 (16.6%増)	78	4 増 (6.0%増)
経常費用	4,755	1,974 減 (29.3%減)	2,189	1,747 減 (44.4%減)	1,930	285 減 (12.9%減)	613	18 増 (3.2%増)
うち保険金等支払金	3,650	49 増 (1.4%増)	1,756	127 減 (6.8%減)	1,355	84 減 (5.9%減)	537	261 増 (94.6%増)
うち責任準備金等繰入額	182	1,694 減 (90.3%減)	73	1,481 減 (95.3%減)	139	210 減 (60.1%減)	0	0 減 (12.6%減)
うち資産運用費用	237	239 減 (50.2%減)	46	51 減 (52.6%減)	145	8 増 (6.1%増)	50	234 減 (82.2%減)
経常利益	470	170 増 (56.7%増)	202	15 増 (8.2%増)	202	49 増 (32.1%増)	62	102 増 (一)
特別利益	0	0 減 (85.6%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	— (一)
特別損失	61	4 増 (8.7%増)	25	11 減 (31.4%減)	34	15 増 (79.6%増)	1	0 増 (1,373.9%増)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	70	1 減 (1.6%減)	42	2 増 (5.6%増)	28	3 減 (10.6%減)	△0	0 増 (85.1%減)
税引前四半期純利益	338	166 増 (96.3%増)	134	24 増 (22.2%増)	139	36 増 (36.0%増)	61	101 増 (一)
法人税等合計	118	38 増 (48.5%増)	45	5 増 (14.3%増)	52	3 増 (7.8%増)	18	28 増 (一)
四半期純利益	219	127 増 (138.2%増)	89	18 増 (26.7%増)	87	33 増 (61.4%増)	43	72 増 (一)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	606	41 減 (6.5%減)	396	26 増 (7.2%増)	249	68 増 (38.1%増)	△33	138 減 (一)
--------------------	-----	-----------------	-----	-----------------	-----	------------------	-----	--------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は3,891億円(前年同期比35.1%減)です。
 3. 特別損失(61億円)のうち59億円は、価格変動準備金への繰入額です。(太陽生命:25億円、大同生命:34億円、TDF生命:0億円)
 4. 資産運用関係収支(一般勘定)は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- **経常収益**は、5, 226億円、前年同期から1, 804億円の減少。
これは主に、太陽生命と大同生命の一時払商品の保険料等収入が減少したことによる。
- **経常利益**は、470億円、前年同期から170億円の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で利息及び配当金等収入が増加したこと、並びにT & Dフィナンシャル生命で株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- **四半期純利益**は、219億円、前年から127億円の増加。

■ 太陽生命の状況

- **経常収益**は、2, 391億円、前年同期から42.0%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- **保険料等収入**は、1, 872億円、前年同期から48.2%の減少。
- **経常利益**は、202億円、前年同期から8.2%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
- **四半期純利益**は、89億円、前年同期から26.7%の増加。

■ 大同生命の状況

- **経常収益**は、2, 133億円、前年同期から10.0%の減少。
これは主に、一時払終身保険の保険料等収入が減少したことによる。
- **保険料等収入**は、1, 663億円、前年同期から17.0%の減少。
- **経常利益**は、202億円、前年同期から32.1%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
- **四半期純利益**は、87億円、前年同期から61.4%の増加。

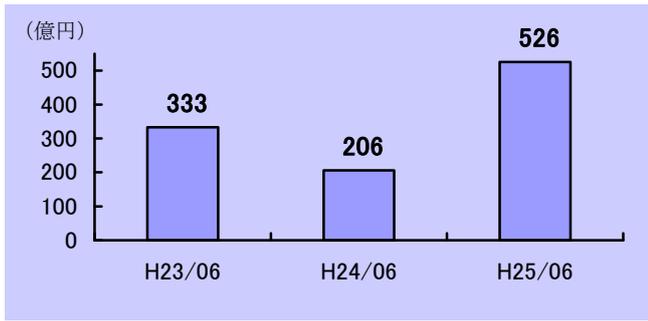
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- **経常収益**は、676億円、前年同期から21.9%の増加。
これは主に、株式相場の上昇に伴い特別勘定資産運用益が前年同期の運用損から運用益に転じたことによる。
- **保険料等収入**は、355億円、前年同期から4.5%の減少。
- **経常利益**は、62億円、前年同期から102億円の改善。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- **四半期純利益**は、43億円、前年同期から72億円の改善。
これは主に、経常利益の改善による。

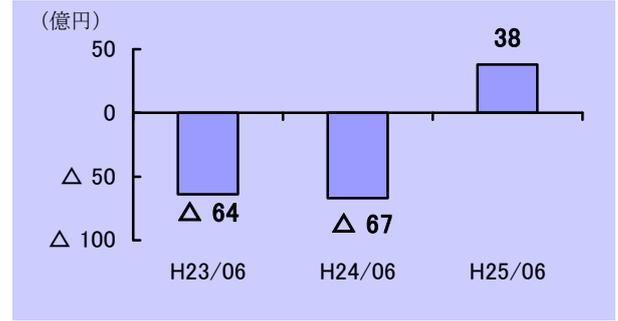
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比
基礎利益	526	320 増 (155.2%増)	161	31 増 (24.6%増)	235	42 増 (21.9%増)	129	246 増 (-)
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	38	106 改善	15	43 改善	29	62 改善	Δ6	0 改善

■ 3社単純合算

- ・基礎利益は、526億円、前年同期から320億円の増加。
- ・順ざや・逆ざやの状況は、前年同期の67億円の逆ざやから、38億円の順ざやとなった。これらは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の基礎利益は、161億円、前年同期から31億円の増加。
順ざや・逆ざやの状況は、前年同期の28億円の逆ざやから、15億円の順ざやとなった。これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・大同生命の基礎利益は、235億円、前年同期から42億円の増加。
順ざや・逆ざやの状況は、前年同期の32億円の逆ざやから、29億円の順ざやとなった。これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・T&Dフィナンシャル生命の基礎利益は、129億円、前年同期から246億円の増加。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が前年同期の繰入から戻入に転じたことによる。
逆ざや額は、6億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	—	—	784.1%	39.3pt 低下	1,019.7%	23.5pt 低下	725.0%	76.6pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	918.1%	25.7pt 低下	789.9%	39.8pt 低下	1,026.6%	23.8pt 低下	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・連結ソルベンシー・マージン比率は、918.1%。

■ 各社の状況

- **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、784.1%、前年度末から39.3ポイント低下。
これは主に、金利上昇により債券を中心としてその他有価証券の評価差額が減少したことによる。
- **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,019.7%、前年度末から23.5ポイント低下。
これは主に、純利益・負債内部留保の積み上げ等によりソルベンシー・マージンは増加したものの、株価上昇による国内株式残高の増加等に伴う資産運用リスクの増加による。
- **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、725.0%、前年度末から76.6ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上、および、株式相場の上昇に伴う変額個人年金保険最低保証リスクの減少による。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
実質純資産	17,432	1,796 減	7,637	1,124 減	8,304	548 減	1,138	122 減

■ T&Dホールディングス連結

- **連結実質純資産**は1兆7,432億円。前年度末から1,796億円の減少。
これは主に、内外金利上昇に伴う公社債、外国証券等の有価証券差損益の減少による。

■ 各社の状況

- **太陽生命の実質純資産**は、7,637億円、前年度末から1,124億円の減少。
これは主に、公社債等の有価証券差損益の減少による。
- **大同生命の実質純資産**は、8,304億円、前年度末から548億円の減少。
これは主に、公社債等の有価証券差損益の減少による。
- **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,138億円、前年度末から122億円の減少。
これは主に、公社債等の有価証券差損益の減少による。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益 (一般勘定)	6,279	2,070 減	4,057	1,210 減	2,081	691 減	140	168 減
公社債	2,736	1,856 減	1,577	953 減	1,015	738 減	144	164 減
株式	2,303	305 増	1,499	161 増	804	144 増	—	—
外国証券	983	498 減	870	390 減	113	108 減	—	—
その他の証券	118	19 増	51	5 減	66	24 増	—	—
金銭の信託	5	1 減	—	—	8	2 増	△3	4 減
買入金銭債権	131	38 減	58	21 減	73	16 減	—	—
土地等の差損益	166	0 減	0	0 増	166	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) >

今回よりEV開示の充実を図るため「市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV)」を四半期ごとに開示することとしましたのでお知らせいたします。

なお、下記の数値は一部簡易な計算を行っており、第三者の検証は受けていません。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (GroupMCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
MCEV	約 17,910	約 1,270 増	約 6,600	約 230 増	約 10,200	約 970 増	約 830	約 50 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期		当第1四半期		当第1四半期		当第1四半期	
新契約価値	約 220		約 80		約 130		約 0	

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約 1 兆 7, 9 1 0 億円と、前年度末から約 1, 2 7 0 億円の増加。
※Group MCEV は「生命保険事業の MCEV (約 1 兆 7, 6 5 0 億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産 (約 2 6 0 億円)」の合計額です。
新契約価値は、約 2 2 0 億円となった。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約 6, 6 0 0 億円、前年度末から約 2 3 0 億円の増加。
新契約価値は、約 8 0 億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約 1 兆 2 0 0 億円、前年度末から約 9 7 0 億円の増加。
新契約価値は、約 1 3 0 億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約 8 3 0 億円、前年度末から約 5 0 億円の増加。

[平成26年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成25年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成25年3月期実績	平成26年3月期予想
経常収益	24,189	21,200 程度
経常利益	1,516	1,650 程度
当期純利益	637	660 程度

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。
(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,700 程度	8,700 程度	3,400 程度
経常利益	720 程度	750 程度	160 程度
当期純利益	260 程度	280 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成26年3月期通期見通し

平成25年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,570 程度	680 程度	820 程度	70 程度
保険料等収入	17,400 程度	7,800 程度	7,300 程度	2,300 程度
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	70 程度	60 程度	30 程度	△20 程度
新契約高	66,500 程度	30,400 程度	33,400 程度	2,700 程度
保有契約高	596,400 程度	218,300 程度	359,100 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.9%程度	7.5%程度	3.5%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命の契約高に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した金額は、次の見通しです。「Jタイプ」は普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。

新契約高 : 3兆8,300億円程度

保有契約高 : 37兆1,100億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上